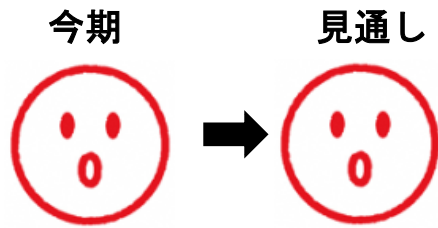


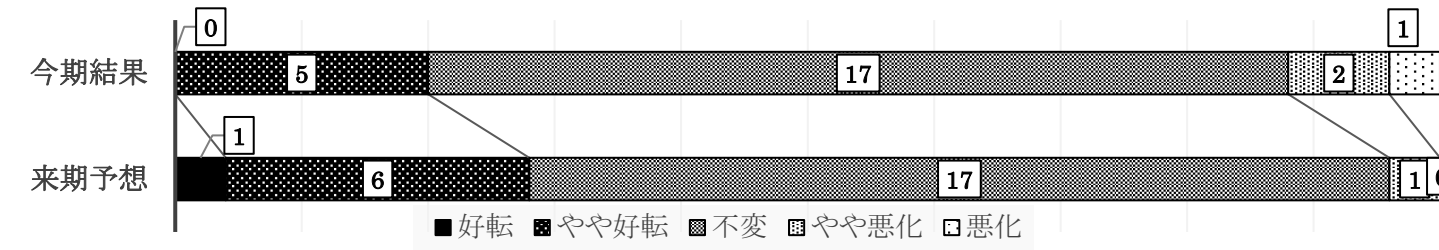
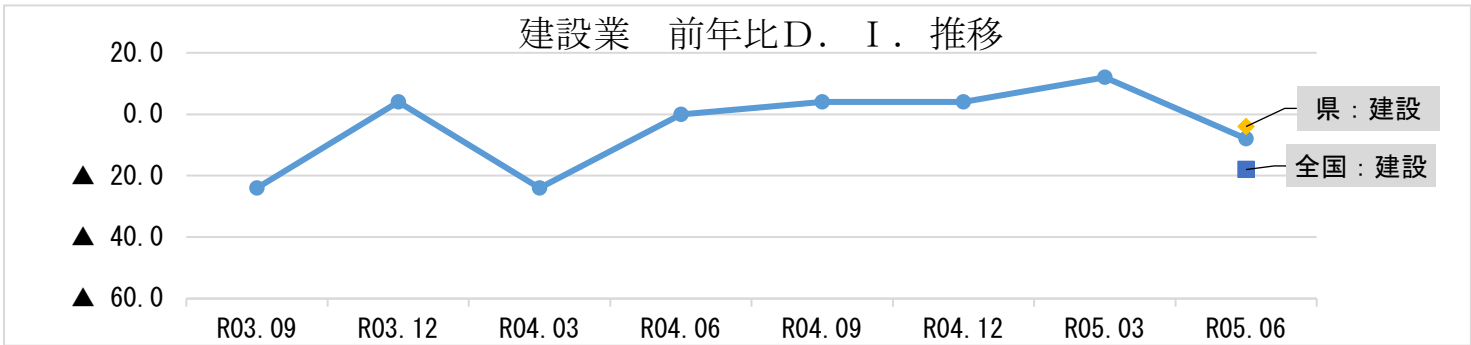
建設業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移

建設業は、コロナの影響で公共工事の予算が削減傾向にあり、仕事量は減少している。建築業は、継続的に資材の価格が高騰しており、受注量については、大きく変化のない状況にあるが、先行きが不透明な点があり、今後難しくなると予想される。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

建設業は、コロナの影響で公共工事の予算が削減傾向にあり、仕事量は減少している。今後は非常に厳しい状況になりそうである。建築業は、木材の価格は落ち着いているが、キッチン、風呂等の価格が高騰しており、利益圧迫の状況である。

【丹波市の来期の景況予想】

資材の納期についてはそれほど遅延なく確保することが出来ている。継続的に資材の価格が高騰しており、受注量については、大きく変化のない状況にあるが、先行きが不透明な点があり、今後難しくなると予想される。

■全国の景気動向

建設業は、原材料価格の高騰が続いているが、一般住宅やリフォーム工事を中心に受注が増加しており、業況の改善が続く。一方、入金までの期間が長いことから、本格化するコロナ融資の返済が資金繰りを圧迫している。また、一部で設備投資による生産性向上の動きが見られるも、慢性的な人手不足から供給が追い付いていない。

■県下の景気動向

木造建築の受注工事の規模が小型化、リフォーム工事を中心となっており、利益の伸びは見込めていない。原材料等のコスト高を受注価格に転嫁できず収益を圧迫されている事業者も多く、業績が二極化している。

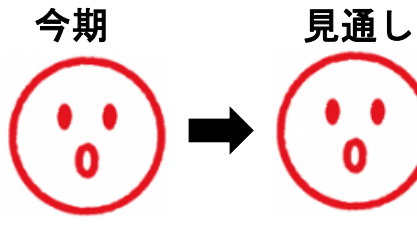
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い	1	0	1	1	0	0	3	12.0%
（増加＋やや増加）								
不変	2	8	0	2	3	2	17	68.0%
悪い	0	4	0	1	0	0	5	20.0%
（悪化＋やや悪化）								
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

製造業

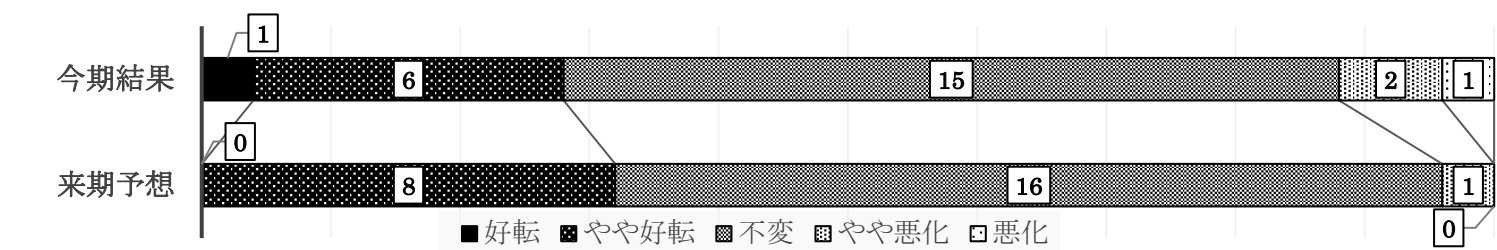
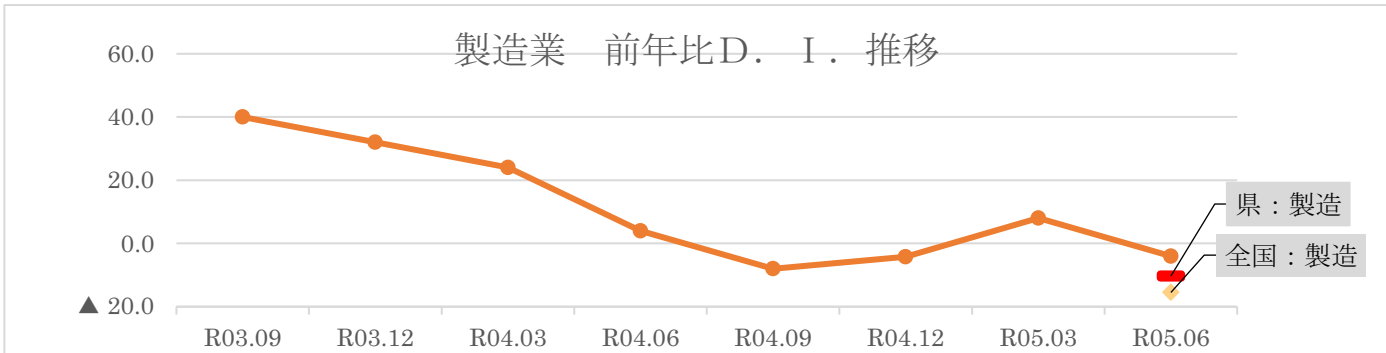
回答率：100% (25/25)

2023年4月～6月期調査



■丹波市の景況推移

全体的に回復傾向にあるが、コスト高の影響により、業況や採算が悪化し、資金繰りも悪化している状況にある。また、人材の確保難も継続して発生しており、生産性の向上が求められている。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

コスト高の影響を受けつつも全体的に売上高の回復傾向にあるが、高騰分の価格を転嫁できず、又は追い付かず、採算が悪化している。また、人材不足の状況も続いており、採用までに至っていないケースが見受けられる。

【丹波市の来期の景況予想】

コスト高や人材不足の解消を図るために機械設備やデジタル化の導入により生産性の向上を図る動きが加速すると予想される。

■全国の景気動向

円安の進行により輸出が好調である。また、自動車メーカー各社の生産回復に伴い、受注も好調を推移し、継続した受注が見込めるため、設備投資の動きもみられる。但し、引き続き原材料価格や人件費など製造コストの上昇分を価格に転嫁しているが、追い付かず、利益が出ていない傾向にある。また、2024年以降は物流問題の発生により、さらなる影響を受けると予想する声も多数挙がっている。

■県下の景気動向

原材料価格や人件費等のコスト高が続くも、受注の増加から売上高は改善してきている。特に食品製造業はイベントが復活し、受注量が増加、人流の抑制も緩和されたことにより、観光業に関連する業界は業況の改善の兆しが見え始めている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

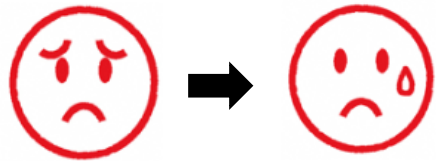
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い	0	3	1	1	1	0	6	26.1%
（増加＋やや増加）								
不変	1	4	1	1	1	1	9	39.1%
悪い	1	2	3	1	1	0	8	34.8%
（悪化＋やや悪化）								
合計	2	9	5	3	3	1	23	100.0%

小売、卸売業

回答率：96% (24/25)

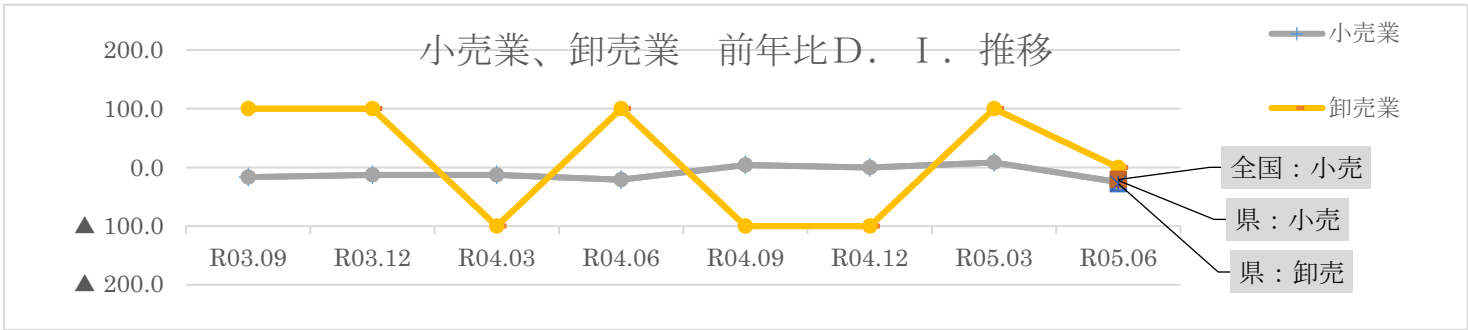


今期 見通し



■丹波市の景況推移

衣料品小売業では、コロナが落ち着き始め、旅行やお出かけの機会が増え、それに伴い売り上げも増加傾向にある。しかしガソリン価格は今後ますます上昇するため影響が出てくることが予想される。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

コロナ明けで外食産業に人が流れてきているものの、完全に回復しておらず、内食需要は継続的に需要がある。食料品や日用品の多くのアイテムが値上げされることで必要以外の商品の購買意欲が減少傾向にある。また、ガソリン価格が少しずつ高騰しており人の動きが鈍くなっている。

【丹波市の来期の景況予想】

久しぶりに各地域の夏祭りやイベントが開催される予定があり、これに必要な食材や飲料の予約が増えてきている。物価上昇により大幅な改善とはいかないが、人とモノの動きは活発化している。ガソリン価格が今後ますます上昇するため影響が出てくることが予想される。

■全国の景気動向

衣料品関連は、外出機会の増加が需要の増加につながった。食料品関連は、物価高騰による消費者の節約志向により、購買頻度が減少している。耐久消費財関連は、電気代の高騰から、省エネを意識したエアコン関連の需要が伸びている。

■県下の景気動向

コロナ禍の巣籠り需要により恩恵を受けていた事業所はコロナが落ち着いてきたことにより売上を下げている。特に食料品小売は上記の影響に加え、商品仕入単価・燃料単価の高騰により採算・資金繰りが大きく悪化している。

■地区ごとの回答（前年同期比）

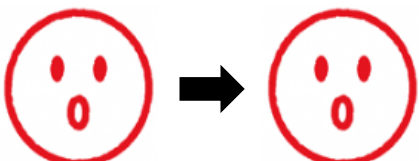
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	0	1	0	0	5	20.8%
不変	1	5	0	0	1	1	8	33.4%
悪い (悪化+やや悪化)	4	1	0	3	2	1	11	45.8%
合計	6	9	0	4	3	2	24	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

回答率：100% (25/25)

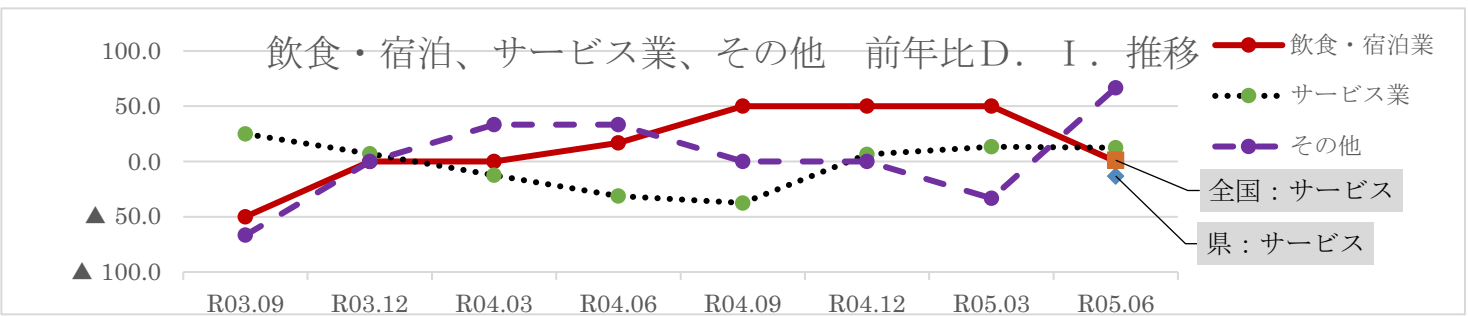
2023年4月～6月期調査

今期 見通し



■丹波市の景況推移

全体的に客足が戻りつつあるが、物価高騰、人材不足の問題は相変わらず事業者を悩ませている。ただし、それをきっかけとして、新たなサービスの提供を考える事業者も多い。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

コロナ収束後、週末にかけて客足は戻りつつある。ただし、これまでよりお酒の注文が減り、単価が伸びないというところもある。他にも物価高騰、人手不足等の問題もあり、収益状況が思うように改善しない状況もあって、状況的にはコロナ前よりも依然厳しい。

【丹波市の来期の景況予想】

コロナや物価高騰へのリスクを乗り越えても、人材不足が悩みの種となっている。需要は戻りつつあるが、常に忙しいわけではないため、フルタイムの人材を雇うのは難しい。飲食・宿泊・サービス業はリモートワークに適さないため、サービスや営業時間の見直し等の検討が必要である。

■全国の景気動向

旅館宿泊の利用率は昨年比で大幅増加し、コロナ前の約9割程度まで回復という声もある。また、クリーニング需要高まるも燃料高騰で利益増加に課題。美容エステ新規出店は増加傾向にある。経済課題や感染対策の継続が必要で、持続的な回復への努力が求められている。

■県下の景気動向

県内の飲食・宿泊・サービス業は、コロナ禍の厳しい状況から徐々に回復している。特に観光地や商業施設周辺の店舗は、より顕著に需要が増加している。ただし、物価高騰と労働力不足などの課題もあり、利益改善には課題が残る。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	4	2	0	2	0	9	36.0%
不変	3	2	1	4	0	1	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	2	1	0	1	0	5	20.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%